

SAH×進路 大学を知ろう！筑波大学編

夏休み 8/1(土)実施の「筑波大学見学会(希望者)」の募集に向けて、今回は筑波大学の「学び」を特集します。東京へのアクセスも良く、色々な学びが揃っている国立の総合大学です。上位層はぜひ志望校候補に入れてみましょう。(編集 教頭)

特徴その1 広大なキャンパス！南北約4kmにわたる広大なキャンパスは、一つの「街」のようです。多くの学生が自転車で移動し、学内バスも運行しています。

人文・文化学群

□ **人文学の総合商社(哲学・史学・言語、考古学、宗教学等)**かつ、**比較文化(サブカル、文化人類学、表現文化等)**や**日本語・日本文化**を「学際的・現代的」な視点で探求(どの学群も同様)。単なる知識習得ではなく「人間とは何か」を問い直します。

△ 1年次からの少人数ゼミで議論の基礎を徹底。人文学類は11もの詳細なコースがあり、比較文化学類は文理を横断して現代社会の問題にアプローチできるなど、開かれた知性が魅力です。

社会・国際学群

□ ① **社会学類**は社会科学の総合デパートで、「**社会学・法学・政治学・経済学**」の4分野が融合。これらをバラバラに学ぶのではなく、相互に関連する学問として基礎から応用まで体系的に学びます。

② **国際学類**は複雑化する国際社会の諸問題を、「**国際関係学**」と「**国際開発学**」の両面から分析します。政治・経済だけでなく、文化、環境、社会開発など、多角的な視点で「平和と発展」を考えます。

△ アピールポイント① **社会学類**は、入学後に4分野すべての基礎をかじり、自分の興味・適性を見極めてから3年次に主専攻を選べる。② **国際学類**は海外研修や留学へのサポートが非常に手厚く、際機関やグローバル企業で活躍したい学生にとって、最も実践的な学びが得られる場所です。

人間学群

□ **教育学、心理学、障害科学**の3学類。人間を「**個体(心)**」「**社会(教育)**」「**共生(障害)**」の多角的な側面から科学的に分析します。

△ 附属の特別支援学校や小中高を活用した、全国屈指の「**実践と研究の融合**」環境。障害科学類は、教育・心理・福祉を統合して学ぶ国内でも非常にユニークな組織です。

生命環境学群

□ **生物学**の基礎から、**生物資源(農学)**、**地球科学**まで。ミクロの分子レベルからマクロの地球規模の動態までを一貫してカバーします。

△ 「**野外実習**」や「**実験**」が非常に豊富。広大なキャンパス内の農場や演習林、さらに臨海実験所など、自然そのものをフィールドとして「**未来の地球と生命**」を考える力がつきます。

理工学群

☐ **数学・物理・化学**の基礎理学に加え、**応用理工**、**工学システム**、**社会工学**の工学系も充実。「基礎から応用への一貫性」を重視しています。

☑ 筑波研究学園都市の国立研究所と連携した教育が強力。社会工学類では、経済や都市計画を「工学的・数学的」に解決する手法を学ぶなど、社会実装に近い学びが可能です。

情報学群

☐ コンピュータの原理を学ぶ「**情報科学**」、コンテンツ制作やメディアを扱う「**情報メディア創成**」、知識の流通・管理を学ぶ「**知識情報・図書館**」の3本柱。

☑ 単なるプログラミング技術の習得に留まらず、情報が人間や社会に与える影響までを文理横断で学びます。21世紀の情報社会を「システム」と「文化」の両面から支える人材を育てます。

医学群

☐ **医学(6年制)**、**看護学**、**医療科学**の3学類。学群制を活かし、早い段階から学類を越えて「チーム医療」の基礎を学びます。医療科学では「臨床検査技師」という国家資格が取れます。

☑ 地域医療の拠点である筑波大学附属病院との密接な連携。医療科学類では、検査技術だけでなく、将来の研究開発を担う「**メディカルサイエンティスト**」の育成にも力を入れています。

体育専門学群

☐ **体育・スポーツ・健康**に関する最新の科学的成果に基づき、優れた実技能力と深い専門知識を兼ね備えた指導者を養成。

☑ オリンピックメダリストを多数輩出する競技環境に加え、スポーツ医学やコーチング学などの「スポーツを科学する」理論教育が圧倒的。

芸術専門学群

☐ **美術**、**デザイン**、**書道**、**構成**の分野。総合大学の利点を活かし、他学群の授業(理工学や人文科学など)を卒業単位として履修できます。

☑ 美大のような実技の追求だけでなく、理論や歴史を重視する「**学術的な芸術**」が強み。他分野と交流することで、社会の課題をデザインやアートで解決する感性と論理性を養えます。

特徴その2 筑波大学の教育システム:学群・学類制

「学群」とは?⇒一般的な大学の「学部」に近いものですが、より広範な分野をカバーします。

「学類」とは?⇒学群の中に置かれるより専門的な教育単位です。他学類の授業も履修しやすく、横断的な学びが可能です。

特徴その3 所在は茨城県も、東京へのアクセス良好!【JR秋葉原駅からつくばエクスプレスで約50分】

筑波大学 公式サイト: <https://www.tsukuba.ac.jp/>

※最新の入試情報やイベント情報は必ず公式サイトで確認してください

筑波大学 入試配点と2次試験科目

学群・学類 / 区分	共通配点	2次配点	2次試験の教科・科目
総合選抜(文系)	950	1500	国語、外国語、[地歴・公民・数学から1]
総合選抜(理系Ⅰ・Ⅱ)	950	1500	数学、理科(2)、外国語 ※数学500点、理科(2)500点
総合選抜(理系Ⅲ)	950	1500	数学、理科(2)、外国語 ※数学600点、理科(2)400点
【人文・文化学群】人文	950	1800	国語、外国語、[地歴・公民から1]
【人文・文化学群】比較文化	630	1200	国語、外国語、[地歴・公民から1]
【人文・文化学群】日本語・日本文化	285	600	国語、地歴(1)、外国語
【社会・国際学群】社会	950	1600	外国語、[国語・地歴・数学から1]
【社会・国際学群】国際総合	1050	1600	外国語、[国語・地歴・数学・理科から1]
【人間学群】教育	530	530	外国語、[国語・地歴・公民・数学・理科から1]
【人間学群】心理・障害	530	530	外国語、[国語・地歴・倫理・数学・理科から1]
【生命環境学群】生物	900	900	数学、[理科(2)]、外国語
【生命環境学群】生物資源	950	900	数学、[地歴・理科(2)から2]、外国語
【生命環境学群】地球	950	1100	数学、[地歴・理科(2)から2]、外国語
【理工学群】数学・物理・工学システム	950	1500	数学、理科(2)※物理必須、外国語
【理工学群】化学	950	1500	数学、理科(2)※化学必須、外国語
【理工学群】応用理工	950	1500	数学、理科(2)※物理必須、外国語
【理工学群】社会工	1050	1000	数学、外国語
【情報学群】情報科	1000	1600	数学、理科(2)、外国語
【情報学群】情報メディア創成	1000	800	数学、外国語
【情報学群】知識情報・図書館	1000	700	外国語、面接
【医学群】医	950	1400	数学、理科(2)、外国語
【医学群】看護	950	800	[国語・理科から1]、外国語、面接
【医学群】医療科	950	800	数学、理科(2)、外国語
【体育専門学群】	740	740	小論文、実技
【芸術専門学群】	950	1500	国語、[地歴・公民・数学から1]、外国語

※前期試験のみ

※2026年度入試のもの⇒最新の入試情報は大学のホームページでチェックしてください

★ポイント

①2次試験の配点が高い

②2次試験において、文系はもちろん、理系も「英語」が重要

③2次試験の世界史・日本史は400字論述×4問

④共通テストは基本フル科目だが、2次試験の科目と配点から、英語+2次科目のどれか1つ得意科目であることが筑波大学合格に近づく「型」

⑤「総合選抜」とは、学群・学類を直接指定せず、「文系」「理系Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の4つの大きな区分で募集し、入学後の1年間に幅広い教養と専門導入科目を学びながら、2年次に進級する専門学類

⑥入試難易度(進研模試偏差値)

☆人文・文化学群64-68

☆社会・国際学群66-67

☆人間学群66-69

☆情報学群63-64

☆理工学群62-66

☆医学群58-70